

稲沢市地域連携事業

稲沢市 「いな活」 について 【概要版】

休日の部活動が変わります — 地域と育てる新しいカタチ

休日の部活動は、学校から「地域」へ



【これまで】
休日の学校部活動



【これから】
・いな活
・地域クラブ活動（認定地域クラブ含む）

休日の部活動を地域クラブ活動へ展開するまで、地域連携事業として部活動指導員による「いな活」を推進します。

「いな活」の仕組みと6つの基本ルール



週**1回**の活動

月4回程度、休日に
1日3時間程度以内。



自由な種目と拠点校

平日と異なる種目を選択可。
学区外の拠点校も利用可能。



専門家による指導

市が任命する各種目専門の「部
活動指導員」が複数人で指導。



部活アプリの活用

指導員と保護者間の連絡・出欠
確認は専用アプリで直接実施。



現地集合・現地解散

活動場所や大会への移動は
保護者の責任と負担。



運営実費・消耗品費・ 大会参加費等の負担

保険、アプリ利用料、
選手登録費、大会参加費など。

学区を越えて、やりたい種目を選ぶ



平日の部活動に縛られる必要はありません。
自分の通う学校にない種目でも、市内の「拠点校」に集まって活動に参加できます。

保護者の皆様へ：新しい2つの役割と費用

アプリ連絡と送迎



- ・専用アプリを通じた出欠連絡が必須となります。
- ・原則「現地集合・現地解散」です。移動手段の確保をお願いします。

「いな活」に関する費用について

① 市が負担する費用

- ・指導報酬等

② 保護者が負担する費用

- ・スポーツ安全保険料や部活アプリ利用料などの運営費
- ・事務費（振込手数料等）
- ・消耗品費（靴、ラケット、グラブ等個人使用の道具）
- ・大会参加費
- ・団体・選手登録費

費用負担の仕組みと内訳



市負担分

① 指導報酬等

保護者負担分

① 運営実費：年約 **1,900 円**

[スポーツ安全保険料 約800円 + 連絡ツール利用 約1,000円 + 事務費 約100円]

② 消耗品費 (靴、ラケット、グラブ等個人使用の道具)

③ 大会参加費 (拠点や種目により異なる)

④ 団体・選手登録費 (拠点や種目により異なる)

これまでの部活動と「いな活」の違い

	【これまで】 休日の学校部活動	【いな活】 地域連携事業
実施場所	自分の通う中学校	市内の拠点校（学区外も可）
種目の選択	平日の部活動と同じ	平日と異なる種目も選択可能
指導者	学校の教員	市任命の専門「部活動指導員」
保護者負担	原則無料	運営実費・消耗品費・大会参加費等 ＋会場への送迎
連絡方法	学校・教員を通じて	専用アプリで指導員と直接連絡

大会出場の仕組みが変わる「令和8年度」

令和8年度
2学期(9月)

令和8年度
夏季大会まで

令和8年度
2学期(9月)以降



大会・コンクールには
「学校単位」で出場します。



休日の学校部活動に代わり、
大会出場も「いな活(拠点校)
単位」へと大きく転換します。

地域全体で、子どもたちの成長を支える



「いな活」は、将来にわたって持続可能なクラブ活動を実現するための新しいカタチの一つです。今後は、これまでの学校部活動の意義を継承・発展させつつ、地域全体で支える地域クラブ活動（認定地域クラブ含む）への展開を目指していきます。